

医療情報の研究利用について

研究の課題名	高齢地域の内視鏡治療後pT1大腸癌における追加外科切除と経過観察の予後比較
研究の責任者(当院)	消化器内科 医長 伊藤 亮
研究の対象者	当院で下記期間内に下部消化管内視鏡検査ならびに、内視鏡的粘膜切除術(EMR)もしくは内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の治療を受けられた方
研究の目的	内視鏡治療が実施された再発リスクを有するpT1大腸癌(腫瘍が粘膜下層に達しておりリンパ節転移リスクがある段階)に対しての標準治療は、リンパ節郭清を伴う外科的腸切除であるが、実臨床では年齢・併存疾患等から経過観察が選択されることもあり、高齢地域ではよりその傾向が顕著であると考え。今回追加切除群と経過観察群の長期予後を比較し、高齢地域における対応方法を再検討することを目的とした。
調査対象データ該当期間	2015年12月～2024年11月
研究の方法 (使用する情報・試料)	電子カルテ内から年齢、性別、併存疾患、内視鏡所見、病理所見、転帰などの情報を取得し、統計学的に解析する。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	代表電話: 0134-24-0325 倫理委員会事務局
備考	研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。 個人の情報として今までの検査結果を開示することは可能です。請求人は原則的に協力者本人とし、本人以外からの請求の場合本人直筆の委任状が必要になります。開示を希望する場合、上記の問合せ先までご連絡ください。

